

編集後記

HAYAT1号の感想を多くの方からいただきました。今回の号への反省点として「大きな字」と「楽しい記事」の導入でした。が、今回も「細かい字」で「堅い内容」になっていますね。自分の活動報告を主眼とすると、どうしてもボリュームが増え、内容も楽しくない記事になりがちです。これはまだ自分の心に余裕がない事のあらわれだと感じます。仕事も余裕がなければ、特に市民の豊かな生活をバックアップする仕事ならば、良い行政サービスはできません・・・と、わかっていても、なかなか難しいのが現状ですね。個人的には週1回、合唱を楽しんでいます。行政の仕事は多岐にわたります。建物、電子化、産業振興、教育福祉からスポーツ芸術まで、自分の生活の中でゆとりを持ち、仕事の視点を広げられたら、と思っています。

最後まで堅い文章ですみません。



土砂災害状況調査

8月のゲリラ豪雨で浸水したエリア、土砂崩落のあった箇所などの状況を会派で確認しました。今回は市北部～城東地区に被害が集中しており、特に城東出張所前の合瀬川護岸崩壊は、堤防道路下の土砂まで流出しており、抜本的な改善が必要と感じました。また、台風15号では、楽田地区の大縣神社付近のため池、池野地区の崩落現場を確認。一般質問でも取り上げましたが、予防はもちろんですが、いつどこで発生するかわからない災害の復旧体制、費用についても行政が極力サポートできる体制作りが必要と痛感しました。



今井パイロットファーム視察

約100haの多くが耕作放棄地で荒れ放題となっています。ここをどう活用するか、市でも明確な方向を示せていません。取り付け道路、たくさんの地権者、環境、造成費用、土地にかかる様々な規制。解決すべき問題はたくさんあります。農業公園、市民菜園から、ソーラー発電基地まで案が出ていますが、どれも具体性に欠けています。本当にできることは何かをよく検討してまいります。



近況報告

4月の選挙で、その前後から田畑の手入れができませんでした。田おこしは選挙後、田植えは2～3週間遅れのスタート。夏場の草引きも「だだくさ」になり、それでも、そこそこの田にはなりました。しかし、先日の台風15号でモチ米が写真のように倒れました。茎を強化する肥料を怠った影響です。来年は周りの方々に迷惑かけないような米作りを目指します。



HAYAT ～伸太郎だより～



2011年11月 犬山市議会議員鈴木伸太郎ニュースレター 第2号

目次

9月議会を終えて	1
委員会	
審議会	
定例議会質問一覧	2～3
議案審議結果	3
土砂災害状況調査	4
今井PF視察	4

9月議会を終えて

震災からの復旧がなかなか進まない中、台風被害で今度は紀伊半島で大きな災害が発生しました。三陸は結婚前は毎年のように訪れていたところ、紀伊半島は今年8月家族旅行で訪問したところ。個人的ではありますが、ゆかりのある地域での災害に心が痛みます。現地で復旧活動のお手伝いをしたいと思いつつも、まとまった時間がとれず、被災地の製品の購入や募金でわずかばかりの支援をしている日々です。

さて、犬山市では「第5次総合計画」という、平成23年度から平成34年度までの長期的な構想を策定しました。今後の市の方針を定める重要な計画です。9月定例市議会での一般質問ではこの件について取り上げました。私の今後の活動にも大きく影響してくるテーマです。議案審議については、平成22年度決算が認定されました。来年度予算に向けて、改善すべき点を指摘し、私の考えも提言しました。

民生文教委員会

7月に、市内に約100名いらっしゃる民生委員の代表の方々との意見交換会を行いました。制度自体の問題はじめ、小学校中学校区のズレ、後継者不足、逆にやりがいや喜び等、いろいろなご意見をお伺いしました。私は、今の制度をサポートするシステムの導入が必要だと感じました。それについての研究をして、新サービスとして提案していきたいと思っています。

国民保険運営協議会

自営業者の方々や退職者の方々が加入されている国民健康保険の会計残高が、22年度末で約8億円残っております。市長より、値下げにより残高を加入者に還元するよう答申がありましたので、協議会で金額の検討を始めました。大幅に値下げをする意見も出ておりますが、私としては、値下げはするものの一定の残高は残すべきではないかと思っております。最近では新型インフル他、予期せぬ病気の流行リスクが高くなっています。いざという時のための備えは残しつつ、値下げを考えていきたいと思っております。

都市計画審議会

7月に開催されました。県、市が都市計画を定める際に、都市計画法に基づき都市計画案を調査・審議する機関です。市街化区域・調整区域の決定と変更、主な幹線道路、公園、下水道の計画の決定と変更を扱いますが、今回は小さな案件の変更のみでした。



休日診療運営協議会

8月に開催されました。休日診療所が円滑に運営されるよう問題点を協議するのですが、今回は平成22年度の実績報告が主でした。開設日数69日、利用者1,743名、内科系79%、外科系21%。地区別では楽田が人口比に比べて利用率が低い一方、休日診療のない丹羽郡の受診者が多い傾向があります。楽田は小牧の医療機関を受診する方が多いようです。

ご意見、ご要望をお聞かせ下さい。市民の皆さまの声を市政に届けるのが我々の仕事です。

ブログ更新中です



鈴木伸太郎 検索

鈴木伸太郎事務所
〒484-0902 犬山市字追分13番地
TEL 0568-48-1777
FAX 0568-48-1787
HP <http://suzukishintaro.com>
Email inuyama@suzukishintaro.com



鈴木伸太郎 一般質問一覧

(詳細は犬山市議会HPでご覧頂けます。)

1. ファシリティマネジメントについて

問1-① 公共施設修繕の要望が強い。従来の部や課の枠にとらわれず、大局的な視点で維持管理する部署が必要ではないか？

答1-① 市の所有する公共施設のうち、築20年以上の施設が8割以上を占め老朽化が進んでいる。現時点では都市建築課に専門知識を有した職員を1名配置し、施設の基礎データや修繕記録をまとめた「施設カルテ」の整備をおこなっている。

問1-② 第5次総合計画にあるファシリティマネジメント(以下F・M)、市としてどのような形態を着地点として考えているのか？

答1-② 第1段階として、答1-①にもあったように、都市計画課に1名配備し、各部署で発生する新たな工事について助言をおこなうと同時に、今年度中には「施設カルテ」を整備しF・Mの基礎データをまとめ、来年度以降コスト低減、長寿命化に向けた計画を作成する。

鈴木伸太郎の考え 建物の維持管理は、これから先、莫大な費用が発生することが確実です。また、この問題は建物の維持だけに収まらず、エネルギー、利用方法、職員の意識の改善まで話は膨らみます。都市計画課という単一の課ではなく、広く見られる部署(市長直轄くらい)の立場で、実施すべき業務です。



2. 電子自治体について

1の質問のファシリティマネジメントもそうですが、業務の電子化も莫大な費用が発生します。

問2-① 電子化による事務の効率化の状況は？

答1-① 昨年度は7,900時間相当の事務量の軽減が図られたが、頻繁な法令改正などで負担も増えている。9月1日より庁内LANを刷新、業務効率を高めている。

問2-② 市民サービスに直接つながる事としては何が期待できるか？

答2-② 個人情報等の課題もあり、今後について現段階での効果は不明。

問2-③ 専門知識を有した職員が不可欠。業務の丸投げや高額での発注、取引先による囲い込みも心配だが？

答2-③ システム管理部門職員9名中、10年以上の長期在籍者が4名いる一方、税・保険・福祉など、他の部署の経験も積んで仕事の幅を拡げている。また、コンペを実施したり他部署の発注支援をしたりして効果を上げている。

問2-④ 電子化は、全庁あげて、いわゆる「縦割り行政」の垣根を低くしないと効率的にできない。それに対する考え方は？

答2-④ 市長からの指示で複数の部署が連携することで成果を上げている。

鈴木伸太郎の考え 電子化では莫大な費用が発生します。業務効率化と費用削減の両面できわめて重要なポイントです。これから数年でどのように推移していくか、注視していきたいと思えます。

ファシリティマネジメントとは、公共施設を『少ないコスト』『最大効果・長寿命化』を発揮させるための管理方法です。高度成長期やバブル期に作られた施設がこれから先、一挙に建て替え、改修の必要に迫られます。全国の自治体で取り組みが始まっている管理手法ですが、自治体間で考え方や運用方法がバラバラの状況です。



庁内LANとは、庁舎内のパソコンをつないで、連絡事項、書類等あらゆる情報をパソコンで見られるようなシステムです。従来の閲覧板をパソコンで「いつでも」「誰でも」「どこでも」見られる便利さがあります。

3. 市長選・市議会議員選挙の費用について

問3-① 166箇所ある選挙ポスターの設置場所を減らせないか？

答3-① ポスター掲示場設置数は法令で決まっており、これ以上の削減は難しい。

問3-② 昨年の市長選挙では総費用1,640千円のうち、45%が人件費。削減できないか？

答3-② 試算では450万円程度の人件費削減は可能(クリアしないといけない課題も多い)

問3-③ ①②で削減した費用で、選挙公報をカラー化、紙面拡大、配布方法もポスティング業者に外注するなどして、スピードアップが図れないか？

問3-③ カラー化は全国でも例がなく、調査は必要だが有効な手段である。ポスティングによる配布も期日前投票を含め効果が期待できる。②③は費用対効果を踏まえ研究する。



写真は小牧市議選ポスター掲示場

4. 市が運営する事業実績の公開について

問4 犬山城登閣者数・鶴飼観覧者数・文化会館催事・休日診療利用者数・幼保小中の欠席者数等、市運営の事業実績や職員が知っておくべき情報を庁内LANで職員全体に公表できないか？

答4 市の事業をタイムリーに把握することは職員の意識改革や資質向上につながる。9月から庁内LANが新たに更新されたばかり、今後これを活用して情報共有を図っていく。

鈴木伸太郎の考え 現状の問題点は2点。1点は、日々変化している市民活動の動きを職員全体で情報共有できていないこと。もう1点は、現場の情報を本庁舎の職員が把握していない場合があること。情報の共有は、問題のスピーディな解決につなげたり、新しいアイデアが生まれたり、そしてなにより、共同体としての活気が出ます。1日も早く、できるところからはじめていただきたいです。

5. 土砂災害発生時の対応について

問5-① 土砂災害の場合、復旧費用は誰が負担するのか？

答5-① 民地であれば土地所有者、官地であれば行政が負担する。ただし、民地の土砂崩れで公共施設が被災した場合は、行政側で仮復旧をおこなう場合もある。

問5-② 地域の高齢化、集中豪雨の増等で災害リスクは増えている。予防策について、国県への働きかけは？

答5-② 県では、「土砂災害防止法」に基づき調査をすすめており、説明会等で公表し災害予防策としている。地元からの要望は県が主体となって優先順位をつけて予防対策事業をしている。

鈴木伸太郎の考え 8月に訪問した紀伊勝浦町、台風で町長のご家族が被災された地域は犬山の風景に似ていると感じました。あのような場所で未曾有の災害が発生したことに脅威を感じます。県や国とのパイプを太くし、災害防止策が少しでも早く実施されるよう働きかけていきます。

主な議案審議結果

第45号議案
犬山市環境美化センター持ち込みのゴミの料金について、平成25年4月までに現状の10kg130円から同200円に値上げする。
(鈴木伸太郎は賛成理由 近隣市町は既に200円で運用されており、バランスをとると同時に、他市町から犬山への廃棄物の流入を防ぐ為)

第47号議案
補正予算議員年金負担金 64,485千円、
防災マップ作成 5,597千円、
フロイデプール修繕 4,778千円、
街路灯等LED化 22,050千円、
住宅用太陽光発電補助金 2,400千円、
木造住宅耐震改修補助金 3,000千円
等追加支出
(鈴木伸太郎は賛成)

第51号議案
平成22年度決算
予算総額390億円に対する決算額は、歳入381億円(対予算97.7%)、歳出355億円(対予算90.9%)、差し引き残額26億円。
(鈴木伸太郎は賛成)